

所蔵品展 No.170

作品の「まわり」に目を向けてみたら／
コレクションでみるシュルレアリスム

予告

Focus on the Paratext of Artworks / Surrealism in Japan: Works from the Collection

会期： 2026/5/30（土） ～ 7/12（日）
 休館日： 月曜日（祝日は開館）
 開館時間： 9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
 観覧料： 一般：210円（160円）／大学生：100円（80円）

※（ ）内は、20名以上の団体料金。

※18歳以下の方は観覧料が無料。下関市と北九州市在住の方で、65歳以上の方は半額免除。（いずれも公的証明書の提示が必要）

※北九州市立美術館友の会（特別会員・一般会員・ペア会員）の方は観覧無料。

● 作品の「まわり」に目を向けてみたら

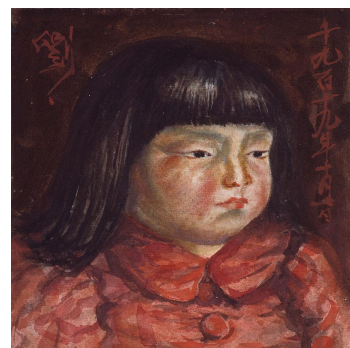
作品のまわりには様々な魅力があります。ある作品の額をはずしてみると、裏にも絵が描かれていたり、裏側に有力な情報（誰に贈ったなど）が隠れていることも。作品のまわりに注目してみたら…コレクションの新たな魅力への扉を開きます。

● コレクションでみるシュルレアリスム

アンドレ・ブルトンの『シュルレアリスム宣言』（1924年）から100年あまり。現代においてシュルレアリスムはどのような意味を持ちうるのか——。シュルレアリスムの特徴を示す作品や、下関市豊浦町出身の堀晃、早鞆高校で指導した矢部桂一郎などの創作を紹介します。

● 19世紀末ポスター ※5/30（火）～6/28（日）まで

今年度冬の特別展「ミュシャ展」に先駆けて、当館で所蔵している西洋の19世紀末ポスターを展示します。また、展示作品を紹介する映像を公開予定です。



岸田劉生《外套の麗子》1919年



堀晃《鳥への儀式》1981年

関連催事

● ギャラリートーク

- ① 内容： 19世紀末ポスターについて、当館学芸員がお話しします。
 日時： 6月6日（土） ①11：00～ ②14：00～（各30分）
- ② 内容： シュルレアリスムのコーナーを中心に、当館学芸員がお話しします。
 日時： 6月21日（日） ①11：00～ ②14：00～（各30分）

※ 備考： 申込は不要ですが、当日の所蔵品展観覧受付が必要です。

下関市立美術館

Shimonoseki City Art Museum

（担当） 所蔵品展169：久光、高村
 所蔵品展170：渡邊、片岡

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1

TEL：083-245-4131 FAX：083-245-6768

Mail：kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

HP：https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/